

研究者の横顔

フリガナ

シラサキ リョウスケ

お名前

白崎良輔

助成金額

100 万円

ご所属

帝京大学医学部 内科学講座 血液腫瘍研究室

研究テーマ

17p欠失予後不良がんの克服を可能とする基盤研究

1：研究者になろうとしたきっかけ

私は内科研修医を2年間行い、血液内科の大学院に入りました。当時の我々の大学院では、研究を行う時間のほとんどを臨床で患者さんを見る事に使っておりました。大学にいるにも関わらず基礎実験をちゃんとやった事が無い自分を恥ずかしくなり、2016年より5年間留学をしました。この留学中に、世界最先端の基礎研究を学び、世界で誰も知らない事を自分だけが知ることが出来、それを直接患者さんに還元が出来るという幸せを強く感じました。この経験により研究者として仕事を行うようになりました。

2：助成研究の内容紹介

私は染色体欠失を作成する技術を当研究室で開発しました。この技術により、予後不良因子となる17番染色体短腕欠失を持ったがん細胞特異的に効果を持つ薬剤の探索を行います。

3：2の将来に繋がる結果予想・目標

17番染色体短腕欠失は難治性となった各種がん、多発性骨髄腫、白血病、大腸がん、卵巣がん、脳腫瘍の一部など多種多様ながんで起こります。世界で20万人近くが最終的に17番染色体短腕欠失を起こし亡くなると推察しています。今回の実験により、この方たちを治す、生存期間を延長させる事が可能になると予想しています。

4：全国のRFL関係者に一言メッセージ

この度は本当にありがとうございます。
私たちの研究を是非応援してください。